

科目名	資格対策講座							年度	2026
英語科目名	Qualification Course							学期	通年
学科・学年	自動車整備科 1年次	必/選	必	時間数	24	単位数	1	種別※	演習
担当教員	坪裕光、和田浩、村木亮治、馬場俊介、丸岡慎		教員の実務経験		有	実務経験の職種		一級自動車整備士、自動車整備士	

【科目の目的】

自動車整備業界は当然の事、社会人として必要な資格を主体的に学習し、取得する事を目的とする。

【科目の概要】

各種資格の合格へ向けた講座です。

【到達目標】

1年次に取得する損害保険募集人試験（基礎単位）や資格講習に計画的にチャレンジし、全て合格することを目標とする。

【授業の注意点】

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い、勝手な解釈で試験対策を行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は補習が完了するまで評価を行わない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている				レベル1 要努力
到達目標 A	損害保険募集人試験に合格				損害保険募集人試験に不合格
到達目標 B	資格講習に参加する				資格講習に参加しない
到達目標 C	電気自動車整備について積極的に学び、発展的な解釈ができる	電気自動車整備について積極的に学び、理解することができる	電気自動車整備について学び、理解することができる	電気自動車整備について理解できない	電気自動車整備について理解する姿勢がない
到達目標 D	ガス、アーク溶接作業について積極的に学び、発展的な解釈ができる	ガス、アーク溶接作業について積極的に学び、理解することができる	ガス、アーク溶接作業について学び、理解することができる	ガス、アーク溶接作業について理解できない	ガス、アーク溶接作業について理解する姿勢がない
到達目標 E					

【教科書】

適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。

【参考資料】

各テキスト

【成績の評価方法・評価基準】

出席率と到達目標を総合的に評価（100%）

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		資格対策講座			年度	2026
英語表記		Qualification Course			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	資格とは	自身の将来と資格を紐づけて重要性を理解する	1 資格とは	資格の重要性を理解する	2	
			2 将来との関連	自身の将来との関わりを理解する		
			3 合格するために	合格するためのプロセスを理解する		
2	損害保険募集人基礎単位	試験合格へ向けた解説と過去問題理解	1 解説	テキスト解説を受講できる	2	
			2 理解	テキスト内容を理解できる		
			3 試験対策	合格するために主体的に取り組める		
3	アーク溶接、ガス溶接資格講習	アーク溶接、ガス溶接資格の取得	1 アーク溶接	アーク溶接の方法について理解する	2	
			2 ガス溶接	ガス溶接の方法について理解する		
			3 試験	アーク溶接、ガス溶接の資格試験を合格する		
4	電気自動車整備業務等特別教育	電気自動車等の整備業務における特別教育を理解する	1 資格概要	資格概要について理解する	2	
			2 安全作業	安全作業について理解する		
			3 試験	修了試験に合格する		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等